

エフ・エス株式会社

第 29 期

決 算 公 告

1. 貸借対照表

貸 借 対 照 表

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	841,138	流動負債	147,071
現金及び預金	651,438	買掛金	38,813
売掛金	154,576	未払金	54,420
未収入金	295	未払法人税等	269
商品	12,850	賞与引当金	21,900
前払費用	10,560	その他	31,668
仮払金	1,744		
繰延税金資産	9,672	固定負債	127,289
		退職給付引当金	110,269
固定資産	131,241	役員退職慰労引当金	17,020
有形固定資産	29,295		
建物	12,718		
車両	950	負債合計	274,360
工具器具備品	2,726	(純資産の部)	
		株主資本	
無形固定資産	4,077	資本金	50,000
その他	4,077		
		利益剰余金	
投資その他の資産	97,868	利益準備金	9,200
差入保証金	53,764	その他利益剰余金	
繰延税金資産	38,789	別段積立金	80,000
その他	13,397	繰越利益剰余金	558,819
貸倒引当金	△8,082		
		純資産合計	698,019
資産合計	972,380	負債・純資産合計	972,380

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 当期純損益金額

当期純利益：14,533 千円

### 3. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・商品 総平均法による原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産 定率法によっております。  
ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。
- ②無形固定資産 定額法によっております。

#### (3) 引当金の計上基準

- ①貸倒引当金 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ②賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事行年度に負担すべき額を計上しております。
- ③退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。
- ④役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

#### (4) その他計算書類作成のための基本となる事項

- 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

以上